

三年不蜚、蜚將冲天、三年不鳴、鳴將驚人、舉退矣、吾知之矣、居數月、淫益甚、大夫蘇從乃入諫、王曰、若不聞、令乎對曰、殺身以明君、臣之願也、於是乃罷淫樂、聽政、所誅者數百人、所進者數百人、任伍舉、蘇從、以政、國人大說、

〔史記百二十六〕淳于髡者、齊之贅壻也、○註長不滿七尺、滑稽多辨、數使諸侯未嘗屈辱、齊威王之時

喜隱索隱曰喜音許既反喜好也喜隱謂好隱語好爲淫樂、長夜之飲、沈湎不治、委政卿大夫、百官荒亂、諸侯並侵、國且危

亡、在於旦暮、左右莫敢諫、淳于髡說之以隱曰、國中有大鳥、止王之庭、三年不蜚、又不鳴、王知此鳥何

也、王曰、此鳥不飛則已、一飛冲天、不鳴則已、一鳴驚人、於是乃朝諸縣令長七十二人、賞一人、誅一人、

奮兵而出、諸侯振驚、皆還齊侵地、威行三十六年、

〔二話一言八〕或書の中に 題號不見

一謎を な。ん。ど。 單按、今童のことばに、ナソノ、ナアニ、ナンドノカケガネ、

〔鹽尻二〕謎は玉篇に隱言なりといへり、和訓は何ぞくくととひかけて、其事をあかす故、なぞくといふ、

謎例

〔日本書紀二十九〕朱鳥元年正月癸卯、御大極殿、而賜宴於諸王卿、是日、詔曰、朕問王卿、以無端事、仍對言得實、必有賜、於是高市皇子、被問以實對、賜綦摺御衣三具、錦袴二具、并繩二十四匹、絲五十斤、繇百斤、布一百端、伊勢王亦得實、即賜皂御衣三具、紫袴二具、繩七匹、絲二十斤、繇四十斤、布四十端、

〔釋日本紀十五〕無端事 兼方案之今世何歟、

〔拾遺和歌集九〕なぞくものがたりしける所に

わが事はるもいはしろのむすび松千とせをふともたれかとかくべき

〔讚岐入道集〕ある宮ばらの女房のもとより、なぞくとてかくいひたる、

かひなしや社のみしていのることなくてみそかに成にけるかな

曾禰好忠